

鉄道史学会住田奨励賞特別賞の受賞

鉄道史学会住田奨励賞について

「鉄道史学会住田奨励賞」は、「Ⅰ鉄道を中心とした近代交通史に関する分野における論文または書籍等で、優れた功績を残したもの」または「Ⅱ鉄道を中心とした近代交通史に関する博物館等での展示や各種資料の保存活動において、優れた功績を残し社会に貢献したもの」に対して送られる賞で、今年で 6 回目となります。このうち特別賞はⅡに該当する団体に贈られるものです。

本学鉄道交流ステーションは、Ⅱに該当する功績が認められて、今年度の「鉄道史学会住田奨励賞 特別賞」を受賞いたしました。

本学鉄道交流ステーションの受賞理由

- ・地方にあって地域の鉄道史を研究対象とし、史実の調査・保存に取り組んでいる。
- ・常設の展示室を有し、無料で公開されている。
- ・定期的に企画展を開催し、継続的に研究展示を行っている。
- ・ブックレットを発行し、研究成果の刊行にも取り組んでいる。
- ・東日本大震災の東北地方の鉄道被害と復興の過程を精力的に取り上げている。

過去の「住田奨励賞特別賞」受賞団体

第 1 回 (2010 年度)	くりはら田園鉄道の資料保存活動
第 2 回 (2011 年度)	くにたち郷土資料館
第 3 回 (2012 年度)	尾道学研究会
第 4 回 (2013 年度)	鉄道博物館
第 5 回 (2014 年度)	沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会

住田正一と奨励賞

大正期から昭和期にかけて海運実業家として活躍した住田正一氏(1893～1968)は、海運・造船業に従事する傍ら海事史を研究し、廻船式目の研究などを通じて広く海事文化の発展に寄与しました。そして、1969 年に「住田海事奨励賞」が設立され、優れた研究に対して表彰してきました。現在では、「海事奨励賞」の他、「海事史奨励賞」、「海事技術奨励賞」、「物流奨励賞」、「鉄道史奨励賞」、「航空奨励賞」が設けられています。

なお、JR 東日本の初代社長を務めた住田正二氏は、正一氏の次男です。